

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2019年7月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町 真宗大谷派宗務所内	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 学校法人真宗大谷学園 理事長 但馬 弘

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	未導入
適 用 範 囲	
導 入 年 月 日	年 月 日
認 証 番 号	
基 本 方 針	現在、本学園ではエネルギーの管理と省エネルギーの推進を行う組織を整備するため、大谷大学・大谷大学短期大学部において検討を行っている段階である。その中で、改正された条例に基づいた「環境マネジメントシステム」の導入に向けた検討も始める予定である。なお、省エネルギーの事業については、各設置校においても、服装の軽装化や減灯等実施可能な活動より取り組んでいる。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①新教室棟の全面運用開始 ②R22フロン使用の抑制 ③省エネへの啓蒙活動
目標を達成するための取組の内容	①キャンパス総合整備計画による新教室棟の全面運用を開始 ②R22フロン使用のGHP更改工事の実施 ③クールビズ・ウォームビズの実施 ④空調機フィルター清掃等、空調機器の効率的運用と、省エネルギー施策・啓蒙活動 ⑤トイレ・ウォシュレットの温水・便座スイッチオフ
目標を達成するための取組の進捗状況	目標を達成するための取り組み①～⑤は取り組むことができた。特に、全面運用を開始した新教室棟では、全館LED照明化やドライミストの導入に加え、太陽光を利用したシーリングファンの導入および地熱を利用したクールヒートチューブを館内地中に埋設し館内の重力換気を行うことで、空調効率を向上させた。また、部室棟に高効率ペアガラスを導入し、断熱効果を向上させた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	警備員巡回時に未使用教室の電気を消灯するなどの省エネへの取り組みに加え、新教室棟の完成に伴う仮設キュービクルの撤去、新教室棟におけるLED照明化や空調効率の向上、部室棟への高効率ペアガラス導入による断熱効果の向上により、電力使用量を減少させた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令については、常に遵守するように心がけている。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。